

■期 日：7月28日（金）

■場 所：ありえコレジヨホール（大会議室）

■参加者：48人

1. 職員の育成

【意見】

5、6年前から要望していた国道の信号機への名称板の設置がようやくできた。お礼をいう。また、去年の懇談会時に出た意見に対する現在の状況についても対応していただき感謝する。新規採用職員が今年も採用されたが、新規採用職員は20年、30年後の南島原市を担っていく人になるので、人材を育てていくことは重要なことである。新規採用職員に対する教育はどうされているのか。

【回答】

新規採用職員の研修は、採用後2日間かけて、市役所の基本業務等について研修を実施します。その後、県の市町村会の新任研修に参加させます。その後、消防署でも研修を行っています。その後に各支所での研修を実施しています。自分の配属先以外の部署での研修を3日間ほど行っています。その後はスキル向上のため、計画的に研修を行うプログラムを作成するように人事課に指示しています。

【意見】

各課に配属された場合、当然そこの仕事を学習させ、育てていくのは当然である。私が言いたいのは職員としての資質をどのように指導していくのかということである。

まず、地方公務員は、地方自治法、地方財政法、地方公務員法の3点は自分で本を買って自ら学習するような職員でなければいけない。

法律や条例は市民の幸せを守るためにあるわけである。ただ、ややもすると、市民の幸福のための法律・条例でありながら、自分の身を守るために、そして市民を逆に縛るような使い方をする場合がある。

決してそうはならないように、100%市民のために働くような職員を育てるべき。

【回答】

おっしゃったようなことは当然のことだと思っています。新規採用職員としてスタートした時点から、そういう意識を持って、そして、しっかりと指導し意識を持たせていくことは大事であると考えています。しっかりと対応していきたいと思います。

【意見】

20年、30年後の市の職員の状況を楽しみにしています。

2. 公共施設管理

【意見】

市長の方針である「住み続けたいまち、住んでみたいまち」には異論はないが、インターネット関係の事業もいいが、できれば製造業が誘致できるような状況をつくってほしい。製造業が安定していないと住みたいまちにはならない。若者の意見を聴くと、都会は給料も高いがその分、出費も多いと言う。そういう観点から、考えてほしい。合併していろいろな施設が残っているが、どのような方法で処分するのか。相当な額の借地料などが発生していると思うので、そろそろ結論を出すべき。

【回答】

ご指摘ありがとうございます。市も各施設の総合管理計画を策定しました。各施設ごとに検討してまいります。残すべきか壊すべきか、もしくは移譲すべきかを検討します。

合併前に統合した口之津の第一小学校は取り壊す方針です。また、加津佐の幼稚園跡や口之津幼稚園跡も取り壊す方針で手続きを進めています。1件、1件着実に、真剣に考えて行っています。

3. 流木対策

【意見】

大雨で海が汚れている。現在、タコとりが最盛期で漁師は朝早く漁にでるが、浮木が多く浮かんでいるので困っている。浮木があれば船がやられてしまうので対策を。市で船に乗って現地視察をするようなことは考えていないのか。

【回答】

この前の九州北部大雨の流木等が布津・深江まで流れてきているということを聞いています。早速、業者等に発注して処分を依頼しています。沖合にある流木等についてはすぐには対応できませんが、海岸に流れ着いたものは、業者に発注して処分することにしています。漁協の話も聞きながら対策を検討します。調査等も行いながら、県と力を合わせて対策を講じていきます。

【回答】

今日、西有家の漁港を見ながら車で走ってきましたが、漂流ゴミが浮いていました。これは大変だと思いました。漁に出る人は大変な思いをされていると思っています。そのまま放置はできないと考えています。

【意見】

予算のことが出ましたが、市の担当者が現状を見たいという気持ちがあれば、無料で私の船に乗せてもいいので、どれくらい海が荒れているのかを見に来てほしい。漁業組合で対策をとるのは難しい。

【回答】

視察はぜひ行いたいと考えています。今おっしゃった意見を持ち帰って情報を共有します。

【後日回答】

国の方で対策をとっています。

4. イノシシ対策

【意見】

市でワイヤーメッシュ等の対策をされているので、農作物の被害は減ったが、今度は対策をしていない市道の土手等を掘られて荒らされている。イノシシを駆除するか、子を増やさないように対策を。半島全体で協力して対策をしてもらいたい。

【回答】

市街地にもイノシシが出現し荒らしています。イノシシを減らすには駆除しかありません。島原半島の有害鳥獣対策協議会があり、3市一体となって対策をとっています。協議会で罠を作って各市に配布して対策を講じていますが、年に1,000頭以上捕獲してもなかなか減っていません。子をどんどん増やしてきており、どれくらいいるのか把握しきれいていません。今は駆除していくしかありません。

それと、イノシシが嫌う環境づくりをしていきたい。現在、効果的な対策がないような状況でありますので、地道に駆除を行っていきます。また、周知・啓発も行っていきます。

【意見】

今の答弁は、どこでも聞く答弁である。具体的な対応を。市道が荒らされては市も修繕しなければいけないので困るはずである。いろんな方法がないか、真剣に考えてほしい。

【回答】

イノシシ問題は深刻です。これまで対策をしてきましたが、さらに深刻になってきていると痛感しています。薬で子を産まないようなという方法もありますが、イノシシ以外の動物が食べた場合に、生態系を乱す恐れもあります。よって、なかなか薬を使った対策が構築できない状況です。多くの捕獲免許取得者に捕獲していただいています。去年の9月、10月頃の2カ月で180匹ほど捕獲された人もいます。次いで100匹、次いで4、50匹といった具合で、去年は3,000匹以上捕獲していたかと思います。補正予算まで組んで対応しました。たくさん捕獲される人は、やはり、はまってこまめに罠などを管理されています。仕掛けの数の割には成果が上がっていませんが、それでも捕獲をお願いするしかありません。深刻な状況であること十分受け止めています。

自衛隊の方と話をしたとき、訓練としてイノシシを捕獲ができないかという話し合いをしたこともあります。柵ばかりではなく、何か抜本的な対策がないか県の担当と研究していきたいと思っています。

5. 道路整備

【意見】

白崎から須川までのバイパスの進捗は。

【回答】

平成17年の旧有家町の時から、白崎から運動公園周辺までの道路計画がありました。しかし、なかなか進まず、地元との話し合いまでに至りませんでした。合併後の平成24、25年度あたりに、白崎から西有家までの約2.5kmの道路の構想が出ました。時期を同じくして、有家から西有家までの国道の渋滞緩和対策として、県とバイパスの検討をしてきた経緯があります。結果的には将来的に深江から口之津までの地域高規格道路の構想の中で検討がされました。知事にもバイパスの要望をした結果、長期的な構想であるとして、すぐには難しいという回答でした。

そのため28年から再度、白崎から西有家までの道路について再度やっという考えを持ちました。関係自治会長と意見交換等をした際にも、是非必要な道路であるという意見をもらいました。

それを受け、今年の7月から先週までに4回、関係自治会に出向き、測量をさせていただきとのお願いをしました。2.5kmという長い区間ですので、まずは蒲河橋付近からイオン前まで小川漁港に下る立道の1kmを測量し、計画を立てて工事を進めていきたいと考えています西有家側については、後持って計画の中で進めていきます。

6. 空き家（危険家屋）

【意見】

須川の上新町から志斗方面に行く道がある。その角に家があり、今にも倒れそうな危険家屋となっている。個人の家なので難しいかもしれないが、通学路になっており、住民が一番通る道ですので、すぐに対処してほしい。

【回答】

危険家屋について、空き家であれば都市計画課が所管で対応しており、現在、空き家の情報をもらったり、市で調査したりしています。また、空き家の法律ができましたので、空き家であればそれに基づいて所有者を特定して行政指導ができます。その結果、解体や修繕で解決したところもありますが、こちらに居ない方などは、なかなか難しい状況です。

ただし、住まれているということであれば、建設課の方で何かしら指導ができるかもしれないので、まずは現地を確認したいと思います。

【意見】

すぐに対応してもらいたい。今にでも崩れそうであるので、すぐに確認を。

7. 学校教育

【意見】

教育行政について、全国的にみれば小中学校で土曜に授業をしているところが増えていると聞いた。土曜授業は市の教育委員会の裁量できると聞いたが、南島原市では検討されているのか。

【回答】

土曜教育活動という社会教育的なものは現在行っています。平日の授業を土曜にするかどうかを協議したことはありますが、土曜に教員に勤務させると平日に代休を与えなければいけず、その先生が平日に休むと通常業務に無理が生じることになります。検討する余地はあるので今後、研究していきたいと思います。

【意見】

現役教師に聞いたら、半ドンがあったころは教師も夏休みがとれてよかったが、週休2日になれば夏休みが基本的に5日ほどしかない。半ドンが復活すれば夏休みが2週間から3週間とれて気持ち的に余裕が持てると聞いたことがある。

【回答】

土曜に教職員は部活を中心に勤務しており、超過勤務時間が月100時間を超す人も市内にいます。月80時間以上の超過勤務になると過労が心配されます。特に部活動を指導する先生の勤務軽減は、国や県、市においていろいろな場面で議論がされています。土曜の部活の勤務と授業をする勤務は区別して考えていきたいと思っています。

8. 社会教育

【意見】

市の29年度予算が約300億円で、自主財源が2割という厳しい予算である。その内、教育費が約28億円である。将来を考えると教育は重要である。特に社会教育面では、3、4年程前まで各町に教育振興班があったが、現在は有家・西有家の2町のみである。この体制で社会教育的な活動をやるには難しいと思う。将来を考えると教育面をもっと充実させてほしい。

【回答】

以前は図書館等にも社会教育主事のような関係者がいて、アドバイスをいただける環境でした。600人いた職員も200名程度削減されました。社会教育委員と連携して寺子屋などを立ち上げ、社会教育のサポート的な活動はしていますが、正直厳しいと考えています。今後、他の部局と協議し、スムーズな社会教育の実現に向け検討していきます。

【回答】

社会教育のあり方については、2年半前の着任当初に人事異動をする中で、その問題点を担当から聞いています。今後のあり方については、現在もう少し突っ込んだ話をしているところであり、前向きに対応していきます。

9. 観光（ジオパーク）

【意見】

茨城からふるさとの有家町に帰ってきた。広報紙で世界ジオパークの研修のことを知り、参加して勉強したところ、半島のすばらしさを実感した。

昨年、日本ジオパークで条件付きの認定となっていて、今年是世界ジオパークの審査がされている。日本ジオパークでの指摘は、地元にあまり浸透していないということであったと思う。今後のジオパークについての市の考えを聞きたい。

関連して、市の花がひまわりであるのに、ほとんど見かけない。タバコ収穫後に植えてはどうか。市内にひまわりを増やす考えはないのか。

【回答】

半島3市共同でジオパーク協議会を立ち上げ推進をしてきましたが、日本ジオパークの審査で条件付きの認定となりました。現在、3市で協議してできるだけ対応をして完全な認定をもらえるように努力しています。指摘事項であった地域住民への周知や、地元住民を巻き込んだ活動については、今後、島原半島ジオパーク協議会を中心に取り組みを強化します。世界ジオパークの審査はいい感じでありました。世界ジオパークからも日本ジオパークも認定してもらえるよう頑張ってもらいます。

市の花については、企画振興部でひまわりの種を無料配布しています。ひまわりの花の寿命が短いこともありあまり植わっていないように感じますが、市内を探してみればけっこう植えてある所があります。

10. 自治会交付金

【意見】

自治会活動交付金について、私が自治会長になる前は11万円ほどもらっていた。去年、私が自治会長になって4万2千円との通知がきたので、なぜだろうと思っていたが、納税率によるものであることが分かった。自治会の納税率が低かったので、基本の4万2千円であるということは納得した。しかし、その後、納税率が上がったので、元の金額まで回復するまではいかなくてもある程度、交付金が増えるのかとおもったら、5千円しか増えなかった。元の金額になるには5年もかかるのかと思った。今後もこの制度でいくのか。

【回答】

平成28年度まで自治会活動補助金としていましたが、今年度から交付金としました。それは、今までの制度が納税率による影響が極端すぎたので交付金といたしました。ご指摘の件については他の多くの自治会からも声が出ているので、早急に検討していきたいと思っております。

11. 公共施設管理

【意見】

ありえマリンパークの海水浴場に、いまだに遊泳禁止の看板がある。去年の懇談会での答弁では、いろいろな事を含め対応していきたいとのことであったが、1年かけてどういう対応をされたのか。

検討は何月何日にしたのか。

【回答】

まず、現地確認をしました。その後、ハビロの除去が難しいということでした。復活、中止、廃止なども含めいろいろな検討を重ねてきましたが、結論に至りませんでしたので、現在、手つかずの状態です。

何月何日に検討を行ったかは定かではありませんが、あの後に現地確認をし、担当課と何回となく検討をしてきました。

【意見】

もう何年経つのか。ハビロは簡単に拾えるし、拾うのにもそう何日もはかからない。海水浴期間は2、3カ月だけであり、その間であればハビロは生えてはこない。

【回答】

ハビロの除去については旧町の時からいろいろな対策を考えてきましたが、対応に苦慮しています。安全面からも遊泳は控えていただきたいと思います。

【意見】

どうしようもなければ、壊してしまっってはどうか。南島原市の観光マップにも表示されていると思う。観光客が来た時に泳げないでは困る。

【回答】

海水浴場という名称の廃止も検討しています。

【意見】

いつまでに結論は出るのか。

【回答】

いつまでにとは言えません。海藻の繁殖にはなかなか勝てない状況です。旧町から薬剤の投入や石積みをしたり網を張ったりしてきましたが、解決しませんでした。

【意見】

そのままにするわけにはいけないので、早急に結論を。早速、観光マップからの名称の削除を。

【回答】

観光マップに書いてあるかは今確認ができません。水辺の遊び場としては十分対応できていると思い

ますが、早急に検討していきたいと思います。

【意見】

とにかく早急な対策を。市長の考えは。

【回答】

現地は確認しています。旧有家町が一生懸命作られたあの場所を海水浴場として使用できないのは残念であると感じています。何とか海水浴ができるような場所になればと思っていますので、考えていきます。

【意見】

よろしくお願いします。

【回答】

観光マップには口之津と加津佐の海水浴場は表示がありますが、マリパークありえについては海水浴場という表示はしていません。「マリパークありえ」という表示だけです。

12. 防犯・交通（カーブミラー）

【意見】

諫早に行く場合、いつも雲仙越えで行っているが、西有家町から雲仙方面へ上って57号線に出る所にある三叉路では、右側が見えにくいので危ない。雲仙市と協議してカーブミラーの設置をお願いしたい。

【回答】

国道389号と57号線が突き当たった場所は、市の管轄ではなく県の管轄でありますので、県の振興局と協議をしたいと思います。

13. 職員の対応

【意見】

最近、自宅の近くのアパートに職員が引っ越してきて「どちらからですか？」と聞いたら「あなたには関係ないでしょう。」と言われたのでビックリした。ちゃんと指導してほしい。

【回答】

指導していきたいと思います。ありがとうございます。

14. 移住・定住

【意見】

「住み続けたいまち、住んでみたいまち」の実現には、働く場所や生活可能な賃金が重要になる。空き店舗・空き家対策等について、地区を指定して起業家を誘致する計画はないのか。

【回答】

現在は考えていません。

15. 島鉄跡地

【意見】

島鉄跡地活用の方向性がやっと決まって安心している。有家から北有馬の一部までは、水道管の埋設工事がされているようであるが、どこの地区も島鉄跡地はまちの中心地を通っている。それを認識して早急に進めてほしい。

【回答】

現在、島鉄と譲り受ける条件等の詰めを行っています。目標として今年度末までには方向性が出せると思っています。その中で島鉄が現在貸している所をどういうふうな形で市が譲り受けるかなど、具体的な検討も今後進めていきます。問題点を明らかにしながら、市民の皆さまにも情報提供をしていきたいと考えています。全体的な活用に加え、部分的な活用も含めて検討していきます。